



国民春闘共闘

第42号

2018年5月14日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第4回進ちよく状況調査

春闘後段の取り組み粘り強くすすむ

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は10日、加盟全単組を対象とした「第4回春闘進ちよく状況調査」を実施し、その集計を19単産（2855組合）からの報告としてまとめました。

1. 要求提出状況

5月10日現在、別表の19単産から、交渉単位数で2855組合の報告が寄せられました。このうち要求書提出組合は、1671組合（59.0%）となっています。なお、要求提出率100%の単産は、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンとなっています。前回集約時（2018年4月16日：1500組合・53.5%）から、新たに171組合が要求書提出しています。

前回集約時から要求提出が伸びた単産は、全農協労連が（+13単組）、建設関連（+4単組）、JMITU（+20単組）に、金融労連（+26単組）、民放労連（+29単組）、日本医労連（+65単組）、福祉保育労が（+14単組）となっており、春闘後半戦に山場を設定している単産からの報告が増加し始めています。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の建設関連労連・自交総連・出版労連を除く）の44.1%にあたる1112組合でストライキ権の確立が確認されています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、検数労連、全損保、郵政ユニオンとなっています。ついで、福祉保育労の78.3%、JMITUの60.1%、合同繊維の60.0%、映演労連の53.3%が続いています。

3. 回答引き出し状況

要求提出組合（1671組合）の57.2%にあたる945組合で回答を引き出しています。

検数労連、郵政ユニオンが100%の引き出し率、次いで、民放労連、出版労連が90%以上の引き出し率となっています。JMITU、化学一般労連、生協労連、日本医労連が8割以上の引き出し率となっています。

4. 回答内容

回答内容では、＜定昇制度のある＞交渉単位 569 組合で見ると、19.0%にあたる 108 組合が「定昇＋ベア」を獲得、81.0%にあたる 461 組合が「定昇確保」となっています。

＜定昇制度のない＞交渉単位 70 組合では、有額回答を引き出した組合が 59 組合となった一方で、ゼロ回答にとどまっている組合が 11 組合となっています。

5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

回答額提示のあった 599 組合での単純平均（1 組合あたりの平均）賃上げ額は 5,596 円で、前年（4,819 円）を 777 円上回っています。賃上げ率は、414 組合平均で 2.53%で、前年同期（2.00%）を 0.53 ㊦上回っています。ベア相当額の単純平均は、105 組合の平均で 1,682 円となっています。全体として厳しい回答内容となっています。

6. ストライキ実施状況

JMITU100 組合、日本医労連 97 組合、福祉保育労 52 組合、全印総連 5 組合、映演労連 5 組合、出版労連 3 組合、生協労連 2 組合、化学一般労連 1 組合の 211 組合から、のべ 310 回のストライキの実施報告が寄せられています。

**安倍 9 条改憲・労働法制改悪 NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**